

平成27年度第1回廃棄物減量等推進審議会会議録

1 開催日時

平成27年8月25日(火)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時00分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 302・303会議室

3 出席委員

成田 暢彦、戸松 正彦、金谷 津由子、松原 しず、榊田 英也

山田 俊樹、松原 裕子 7名

4 欠席委員

谷口 悦予、本間 彰、浅見 洋子、白坂 弘子、鈴木 敏広 5名

5 傍聴者数

1名

6 出席した事務局職員

市民生活部長 小池 勲、環境課長 石坂 清二、環境課長補佐 川本 英貴、
環境課主査 長田 篤

7 議題

- (1) 会長の選出について
- (2) 職務代理者の指定について
- (3) 一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について
- (4) 10月からの取組事項について
- (5) 危険ごみの収集方法について
- (6) 小型家電の分別回収の試行について

8 会議の要旨

環境課長

定刻になりましたので、ただ今から平成27年度第1回 尾張旭市廃棄物減量等推進審議会を開催させていただきます。

本審議会は、7月から新たに皆さまに委員をお願いさせていただきました。初めての会議でございます。今回の委員の方々は、お配りした名簿のとおり12名です。任期は2年間となっておりますのでよろしくお願いいたします。

本審議会は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めております。また、「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、本審議会の会議録については情報公開の対象となることも、あわせてご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

市民生活 部長	<p>それでは、はじめに市民生活部長より挨拶をさせていただきます。</p> <p>皆さま、こんにちは。市民生活部長の小池と申します。平成27年度第1回廃棄物減量等推進審議会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、新しい委員による第1回目の審議会ということで、皆さま方には大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今回、委員をお願いするにあたり、学識経験者、各種団体や事業者からそれぞれ団体の推薦者を、市民公募の委員は2名の方を本審議会の委員として任命させていただきました。皆さまには、快く当審議会の委員をお引き受けいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。</p> <p>本審議会は、ごみの減量化、再生利用の推進方策や諮問事項等について調査審議していただく機関でございます。</p> <p>本市では、平成26年度から10年間を計画期間とする、尾張旭市一般廃棄物処理基本計画を策定し、1年ほど経過しました。</p> <p>その中で、本日の議題とさせていただきますが、10月からの新たな取組として、「一部地域でのプラスチック製容器包装の毎週収集」と「リサイクルステーション（店頭回収）」の試行を実施します。</p> <p>より効果のあるものとなるよう、皆さまのお力添えをお願いするとともに本日は、忌憚のないご意見を述べていただきますことをお願い申しあげまして私の挨拶とさせていただきます。</p>
環境課長	<p>市民生活部長ですが、次の公務が入っているため、ここで退席させていただきます。</p> <p>先ほども申し上げましたが、本日が新委員による初めての会議でございます。</p> <p>皆さまから簡単な自己紹介をお願いいたします。</p>
各委員	<p><自己紹介></p>
環境課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は谷口委員と浅見委員から事前にご連絡をいただいております。本間委員、白坂委員、鈴木委員は、欠席のご連絡をいただいておりますが、まだお越しいただいておりません。したがって、本日の出席委員は7名であります。</p> <p>委員の半数以上の方にご出席いただいておりますので、本審議会条例第7条第2項により、本審議会は成立しております。</p> <p>また、本日出席しております事務局職員は、資料の名簿のとおりでございます。一言ずつ挨拶させていただきます。</p>

事務局	<自己紹介>
環境課長	<p>それでは、議題に移らせていただきます。</p> <p>なお、新しい会長が選任されるまでの間、事務局で議事の進行を行いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは次第2議題に入ります。</p> <p>議題の(1)会長の選出についてでございます。</p> <p>この件につきましては、尾張旭市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第1項の規定によりまして、委員の互選により定めることとしております。</p> <p>委員の方から、どなたかご推薦願いたいと思います。</p>
松原しず 委員	<p>前回の審議会では、自治連合協議会の委員の方が会長をやられておりましたので、今回も地域の課題に精通しておられる自治連合協議会の戸松委員を推薦したいと思います。</p>
各委員	(異議なし)
環境課長	<p>ありがとうございます。それでは、ご異議もないようですので本審議会の会長は、戸松委員にお願いすることに決定しました。ただいま、会長が選出されましたので、議事進行を会長と交代させていただきます。ご協力ありがとうございました。それでは会長には会長席に移動願いまして、まずはご挨拶からお願いいたします。</p>
戸松会長	<p>ただいま会長に推薦いただきました戸松でございます。ごみの減量化といいますと、40年ほど前からコンポストで堆肥化を行っておりますが、なかなかごみの減量について自信をもって言えることありませんので、この機会を自分自身の勉強の場にさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>議題に従いまして、議事を進行させていただきます。</p> <p>議題(2)職務代理者の指定についてです。この件につきましては、尾張旭市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項に基づき、私、会長より指名させていただきます。学識経験の豊富な成田委員を職務代理者として指定させていただきたいと思いますが皆さまいかがでしょうか。</p>
各委員	(異議なし)
戸松会長	<p>それでは、成田委員に職務代理者をお願いします。</p> <p>続きまして、議題の(3)に入らせていただきます。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
長田主査	<資料1に基づき説明>
戸松会長	<p>ただいま説明のありました、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>

成田委員	ごみ有料化のプロジェクトについて、市民へのアンケートは必要だと思しますので、アンケートをするための1つのたたき台を今後作成することになると考えられます。これからアンケートを行うための準備を念頭において、作業を進めていただきたいと思います。
環境課長補佐	今年度は、報告書をまとめる予定となっています。現在は、他団体の状況について情報収集し、また今秋には先進地の視察ということで、県内でごみ有料化を実施している東海市、常滑市へ伺うことを予定しております。そういったところから情報を得て、報告書をまとめていきたいと考えております。その報告書でまとめられた課題等をふまえ、改善すべき点は改善していきます。その中で、市民へのアンケートの実施を計画しておりますので、今後予算要望をしていきます。委員の皆さまにもアンケートの内容等でご意見いただければと思います。
戸松会長	市民へのアンケートの実施についても計画に入っているということで、事務を進めていただきたいと思います。 他にご意見・ご質問等ないようですので、議題の(4)10月からの取組事項について、資料2に基づき事務局から説明をお願いします。
環境課長補佐	<資料2に基づき説明>
戸松会長	ありがとうございました。 ただいま説明のありました、10月からの取組事項についてご意見・ご質問等ございましたらお願いします。
榊田委員	検証が終了したら、また元に戻ってしまいますか。
環境課長補佐	市民の方の利便性や費用も含め検証し、ごみの減量化につながるものであれば、本格実施に入りたいと考えております。
環境課長	検証期間が6か月となっておりますので、6か月经過してから検証をしておりますと、4月からは実施しないということにもなりかねませんので、前半の3か月で検証を十分に行い、効果があるということであれば引き続き4月からも実施していくというのが事務局の考えでございます。 なるべく早く検証を行い、試行から本格実施が継続してできるようにと考えております。
松原しず 委員	リサイクルステーションで回収された資源ごみは、稲葉町にある環境事業センターから取りにくるのでしょうか。
環境課長補佐	環境事業センターや、市と資源ごみの引渡しの契約をしています業者が定期的に回収を行う予定です。
戸松会長	他にご意見・ご質問等ないようですので、議題の(5)危険ごみの収集方法について、資料3に基づき事務局から説明をお願い

	<p>します。</p>
環境課長補佐	<p><資料3に基づき説明></p>
戸松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま説明のありました、危険ごみの収集方法についてご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>
環境課長	<p>補足の説明をさせていただきます。昨年度の審議会において委員の皆さまからご意見をいただき、穴をあけずそのままごみとして出されると大変危険ですので、市民の方にご家庭で穴をあけていただいたほうがよいという意見が多くありました。</p> <p>しかし、今回環境省から穴をあけないで出すほうが望ましいという通知が再度出ました。</p> <p>また、隣の瀬戸市では、市民の方が台所で缶に穴をあけている時に、引火したという事故も起こっております。</p> <p>穴をあけないという方向性でいきたいと先ほど説明しましたが、あくまで使い切ったものに対して、穴をあけないということです。使い切っていないものに関しましては環境事業センターか、もしくは市役所へ直接持ち込んでいただくよう十分に周知していきたいと考えております。</p>
戸松会長	<p>今年の3月に、「ごみの出し方」のチラシが全戸配布され、その中でスプレー缶等には穴をあけて出して下さいという記載がありましたが、来年度に向けてまた同じようにチラシを出されると思いますが、市民にわかりやすいような表現方法で周知をお願いします。</p>
成田委員	<p>質問ですが、受入れ業者の体制を整えば穴があいていないものも収集可能ということでしたが、実際のところ受入れ業者はいるのでしょうか。</p>
環境課長補佐	<p>現在、リサイクル広場で使い切っていないものや、穴のあいていないスプレー缶などを受け入れ、業者に依頼し処理をしていますが、少量です。今後ルート回収により市民の方から出てくるものがどのくらいの量になるのかわからないため、業者の受入れ可否の判断も難しいところです。名古屋市もおそらく、量が多くなった場合に全部を処理できる業者を探すのが困難な状況だと思います。</p>
戸松会長	<p>市民に周知をする際には、しっかりと線引きをしておかないと混乱を招いてしまう恐れもありますので、周知の仕方について検討をしていく必要があると思います。</p>
松原しず 委員	<p>ガスボンベ等の残量が、一目でわかるようになるとよい。</p>

環境課長補佐	<p>そういった情報がありましたら、周知を図っていきたいと思います。</p>
戸松会長	<p>他にご意見・ご質問等ないようですので、議題の（６）小型家電の分別回収の試行について、資料４に基づき事務局から説明をお願いします。</p>
環境課長補佐	<p><資料４に基づき説明></p>
戸松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま説明のありました、小型家電の分別回収の試行についてご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>
成田委員	<p>私は名古屋市民ですが、自宅の近くで言いますと、アピタ千代田橋店では小型家電の回収ボックスがあります。やはり、販売店にも協力をしてもらうことが重要だと考えます。また、見たことはありませんが大型の家電量販店にも協力してもらう働きかけをしていただきたいと思います。</p>
戸松会長	<p>設置箇所が多ければ多いほど、市民の方の関心も高まり、回収率も上がってくると思います。まずは５か所で実施し、検証していただきたいと思います。</p> <p>他にご意見・ご質問等ないようですので、次第の３その他について事務局からお願いします。</p>
環境課長	<p>長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。</p> <p>今回は、今回ご議論いただいた内容を事務局で整理・検討し、事務を進めていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>また、本日は欠席の方も多く、反省しております。次回以降は事前に出欠の確認を行い、多くの方が出席できるよう調整しますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>次回開催の日時につきましては、決まり次第、なるべく早く委員の皆さまにご案内させていただきますので、お忙しいとは思いますが、ご出席についてよろしくお願いたします。</p>
戸松会長	<p>それでは、これをもちまして、平成２７年度第１回 尾張旭市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。</p> <p>皆さま長時間にわたり大変お疲れ様でした。</p>